

柳川市域の海童神社

市史研究員 湯川洋史



四平の海童神社



城戸の海童神社



城戸の海童神社拜殿内にある由緒などが書かれた懸額

市内の有明海沿岸部には海童神社が多くあります。明治時代につくられた神社明細帳のうち、「山門郡神社明細帳」には西宮永村1社、東宮永村1社、両開村11社、有明村10社の計23社の海童神社が記載されています。由緒は不詳とされているところが多いですが、有明村中島字三五平の天保11（1804）年のように創建年代が分かっているところもあります。祭神には少童神と綿津見神という2通りの表記があります。どちらもワタツミと読みます。海神はその名の通り海の世界を司る神のことで、

近世の干拓によって開かれた場所に海童神社は多く分布しています。その中でも両開村東開字四平、字舎人、字城戸にある海童神社には、それぞれの土地を開いた人間が創建したという伝承が残っています。四平では立花四平（四兵衛）、舎人では吉田舎人、城戸では城戸神代という人物が干拓を行い、創建したと伝えられています。こうした干拓開発主が神社の創建とも関わっているという伝承は、堤伝『柳川地方干拓誌』にも出ており、四平や舎人、城戸以外にも伝承されていたことが分かります。

上述の堤の著作では干拓地に海童神社が多いことについて言及し、その理由として干拓地の人々が海神の怒りを恐れていたことを挙げています。「神社明細帳」を見ると、海童神社の他に少童神や綿津見神

を祭神とする神社もあったことが分かります。とくに「三瀨郡神社明細帳」には海童神社の記載はなく、少童神を祀る龍神社などが記載されています。

同名の祭神を祀りながら神社名が異なることについては考えるべき問題も多くあります。ですが有明海沿岸、とりわけ旧山門郡に海童神社が多いのは事実です。それが何を意味するか考えることは有意義なことに思えます。まだ調査が十分でなく、はっきりとしたことは言えませんが、海童神社は佐賀県にも存在することから、有明海沿岸部において海童神社を祀る何らかの理由があったと考えています。それは海神への恐れという心情的な面だけではなく、干拓技術の伝播など人の移動と関わる理由だったのではないかと考えています。

ガンバル 我ら 地域おこし協力隊

No.48

大都市圏から地方へ人の流れを作り、将来の定住を目指しながら、地方の活性化への貢献を目指すプログラム「地域おこし協力隊」。彼らの日々の活動を紹介します。
【問】市観光課観光地域づくり係 (☎77・8176)



製作に関わったからたちの木の案内板



キルギスの記念イベントで堂々と篠笛を演奏



船頭として活動した3月の雛めぐり舟

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の片野です。柳川に来て早くも1年が過ぎました。前回、このコラムを書いたのは昨年11月の白秋祭「水上パレード」のすぐ後でした。それから半年以上が過ぎ、さまざまな出来事がありました。

一番の大きな出来事と言え、柳川市観光協会だけでなく、市内2つの舟会社の試験をなんとか合格することができ、船頭として仕事ができるようになったことです。実際の現場に出ると体力的な面はもちろんのこと、細かい操船や観光案内の内容など、ベテラン船頭さんの技術のすごさと自分の技量の未熟さを痛感します。それでも、お世話になっている舟会社の皆さんに本当に良くしていただいているおかげで楽しく仕事と向き合えています。

船頭の仕事の合間に、東京や新潟で観光PRを行ったり、沖端にある北原白秋先生ゆかりのからたちの木の案内板を製作したりすることなどに携わりました。3月の「雛めぐり舟」では、

昨年1年間でやってきたことの総まとめとなる運航となりました。多くの課題が見つかりましたが、自分なりに工夫をして運航を行うことは、確実に次につながると思います。

また、私のもう一つの大きな柱となっている篠笛奏者としての活動では、3月に国交樹立25周年の記念イベントで中央アジアにあるカザフスタンとキルギスの2か国で演奏を披露してきました。キルギスでは、国内最大のホールでの演奏だったものの、リハーサル途中で停電が起きたり、無線マイクが電波の混線では使えなかったりと、日本では考えられないようなトラブルも多かったですが、それすらも楽しく過ごしてきました。また、両国では柳川産の海苔もすっかりとPRしてきました。

柳川に来て2回目の夏を迎え、秋が来れば私の任期も残り半分となります。地域おこし協力隊の最終目標である「定住」に向けて、自分の足元をしつかりと見極め、独り立ちに向けて動いていこうと思っています。



片野 聡 (35歳)
【プロフィール】千葉県香取市出身。千葉県佐原観光協会で船頭として働く。また、篠笛演奏家としても活躍し、全国大会優勝の他、アメリカやドイツでの海外演奏経験もある。平成29年4月から観光課に所属

船頭に篠笛 定住に向け日々精進